

- ◎向日市民憲章◎
- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
 - 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
 - 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
 - 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
 - 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

向日市の足跡をさぐる 向日市史編さん事業のこの一年



昭和53年度にスタートした向日市史編さん事業も軌道に乗り、着々と進んでいます。

では、どんなことがわかったのでしょうか？

そこで今回は、「向日市史編さん事業のこの一年」をふりかえってみましょう。

「広報向日市」に4月1日号から連載中の「いにしへのロマンを追って―市史編さん活動日誌から―」も、9月1日号で第6回を迎え市民のみならず、すっかりおなじみになったことと思います。

向日市は、遠く奈良朝末に長岡京の都がおかれた王城の地で、古くから由緒のあるまちです。

この向日市の過去の姿を整理・保存しておこうと、昭和54年6月からスタートした市史専門委員会の活動も、1年を経過しました。この間、向日市史編さん

多い土地台帳類と貢租関係史料

「これらの史料により、現在の向日市域は、江戸時代の村をいうと、物集女村・寺戸村・白井村(現在の森本町)・鶴冠井村・植野村そして向日町の1町5村がありました。」

まだ不十分な史料収集に協力を

しかし、1カ村の数世紀にわたる村方史料が一括して保管されているケースは少なく、宗門帳も累積的なものは少ないのが現状です。

向日市史執筆委員

執筆委員は専門委員と一緒に活動をしていただく方々です。

〈古代〉	井上 満 郎	京都産業大学助教授
	山 中 章	向日市教育委員会
〈近世〉	長谷川 澄夫	桃山高校教諭
〈地理〉	日下 雅 義	立命館大学助教授
	金田 章 裕	追手門学院大学助教授
	応 地 利 明	京都大学助教授
	赤 阪 晋	近畿大学助教授
	久 武 哲 也	甲南大学講師
	青 木 伸 好	京都大学助教授
	須原 美士雄	立命館大学助教授
〈民俗〉	植 木 行 宣	京都府教育委員会文化財保護課
	守 屋 毅	国立民族学博物館助教授
	福 田 栄 治	府立総合資料館学芸員
	松 山 利 夫	国立民族学博物館助手
〈建築美術〉	川 上 貫 久	京都大学助教授
	毛 利 久	奈良大学助教授

市内の調査先一覧

- 次の寺社・区事務所・個人宅において史料調査させていただきます。
- 山科区) △鶴鳴寺(寺戸町) △小嶋種治(上植野町) △須田五男(寺戸町) △須田久重(寺戸町) △多田九郎右衛門(寺戸町) △中禁捨(森本町) △林田義夫(上植野町) △藤田四郎(鶴冠井町)
 - 区事務所) △向日町区事務所 △向日寺戸区事務所 △向日区事務所 △五十音順(個人宅) △五十音順(鶴冠井町) △上田高彰

元和2年(1616)向日町上ノ町(現在の寺戸町東ノ段・中ノ段西ノ段)の復原図



史料調査なんていうと仰々しいけれど、実は、埃や紙魚(しみ)との闘いなのです。あつちこつちがガククになりながらも史料が見つければハンザイイのです。

最近では、山ほどある近・現代史料の中から、現在市内に1点、市外に1点しか残っていない「当道路々世書帳(とうちようめいめいとせがきちよう)」の原本が見つかった時には、思わず「一問、出たあ」と叫びました。

京都フィルハーモニー室内合奏団

京都府移動文化芸術劇場

京フィル月小さな楽しい音楽会

10月18日(土)

《入場料》

PM6:30 開演

市民会館ホール

	前売券	当日券
おとな	800円	1000円
こども	500円	600円

チケット発売所

- 向日市民会館
- かどや手芸店
- 山口たぼこ店
- 西川時計店

9月16日から発売